

少人数学級と教職員の増員を！ すべての私立高校生に入学金補助を！

1. 入学金補助を実現してください
2. ただちに全学年「授業料」無償にしてください
3. 経常費助成のパーヘッド配分基準をやめ、教育条件改善・向上につながる配分方式にしてください。
4. 私学教育の多様性を損なう、^{そこ}キャップ制度をやめてください

私の一言

住所
名前

少人数学級とすべての高校生の 学費無償を実現してください

1. 教育費予算を増額してください
2. 私学経常費助成国庫補助を増額してください
3. すべての私立高校生の学費が無償になるよう、「就学支援金制度」を拡充してください
4. 入学金補助を実現してください

私の一言

住所
名前

切り取り線

切り取り線

大阪府
は

入学金補助制度の創設を!! 少人数学級と教職員増の実現を!!



大阪府は私立高校の教育条件に関わる「経常費助成」を国標準額より削減し続けています。また、パーヘッド配分のため、少人数学級がすすまない、正規雇用の教職員が増えない、施設設備費が改善されない等の問題があります。子ども達が安心して学校生活を送れるよう「経常費助成の拡充を」の声を知事に届けましょう。

こんなに低い

大阪府の経常費助成

全国で **46**位 国標準額▶▶▶ **354,027円**

大阪府▶▶▶ **325,500円**

→国標準額との差額は **28,527円**

※高校生1人あたり/2023年度 (全国私学助成会調べ)

※パーヘッド配分基準とは

在校生生徒数の数に応じて機械的に経常費助成を配分する制度。

※キャップ制度とは

府が支援する授業料補助金(年間63万円)で「無償」にするため、各私学の授業料との差額を、学園側に負担を強いる制度。

授業料無償化拡充は

この要請ハガキ運動が原動力となりました!!

大阪府が各家庭に対する授業料支援補助金制度を拡充してきたのは、この「一言はがき」運動で寄せられた声の力です。しかし、まだまだ保護者負担は残ります。

■知っていますか？入学金補助制度が全くない大阪府

私立高校では入学時に入学金や諸費用合わせて約50万円以上かかります。全国の半数以上の都道府県で私立高等学校では入学納付金の補助があります。

私立高校で学ぶ生徒の就学を支援するというなら、大阪でも入学金補助制度が必要です。

2023入学金補助制度のある都道府県

24都道府県(福井・愛知・神奈川・埼玉・秋田・宮城・茨城・栃木・長野・香川・佐賀・広島・千葉・山口・群馬・三重・石川・富山・新潟・青森・鹿児島・山形・岩手・熊本・北海道・東京・兵庫・山梨)

入学金貸付金
制度あり

北海道・東京・兵庫

入学金サポート
制度あり

山梨

全国28都道府県では、
入学金補助制度あり

